

ながめま じろう
長沼 次郎 NAGANUMA Jiro

経営情報学部 メディア情報学科 教授
 メディア情報学科 主任
 E-mail : naganuma-jiro@keiei.shikoku-u.ac.jp
 TEL : 088-665-9768

PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■生年月 1956年12月</p> <p>■学位 博士（工学）（京都大学/1995. 11）</p> <p>■学歴 徳島大学工学部電気工学科卒業(1981. 3)</p> <p>■主な職歴 日本電信電話公社(後に日本電信電話株式会社:NTT)電気通信研究所配属(1981. 4) NTT LSI 研究所主任研究員 (1991. 4) NTT サイバースペース研究所主幹研究員 (2001. 10) NTT サイバースペース研究所主幹研究員ディレクタ(2004. 2) NTT サイバースペース研究所主幹研究員グループリーダ(2008. 4) NTT エレクトロニクス株式会社主事(2009. 4) 四国大学経営情報学部メディア情報学科教授(2011. 4)</p> <p>■専門分野 並列計算機アーキテクチャ、映像符号化実現技術、大規模システム LSI 設計・構成技術</p> <p>■現在の研究 次世代の高度なメディア情報の通信・蓄積処理を実現するため、メディア情報の表現技術からその圧縮技術まで、さらにメディア情報のリアルタイム通信技術からフレキシブル蓄積配信技術まで、ハードウェア/ソフトウェア協調実現技術を踏まえたメディアアーキテクチャの研究を行う。</p> <p>■所属学会 電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE-Computer Society</p> <p>■担当授業科目 【学部】 情報科学概論Ⅰ、メディア情報学概論、コンピュータアーキテクチャ、システム開発論、情報メディア論、プレゼンテーション効果、災害と防災、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、フレッシュャーズゼミ、メディアリテラシーゼミ 【研究科】 コンピュータアーキテクチャ特論、映像メディア通信・信号処理特論、応用情報学特別研究、特別演習Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>■主な学会及び社会活動等</p> <p>1) 第五世代コンピュータ技術開発機構 PIM/PIC WG アブザーバ/委員 (1986～1992)</p> <p>2) 電子情報通信学会デジタル信号処理研究専門委員 (1997～2004)</p> <p>3) 情報処理学会計算機アーキテクチャ研究会運営委員 (1998～2000)</p> <p>4) 電子情報通信学会英文論文誌 C/D 編集委員 (1998～2001/2003～2006)</p> <p>5) IEEE 国際シンポジウム COOL Chips 組織委員 (2004～2009)</p> <p>■主な受賞歴</p> <p>第33回日本産業技術大賞内閣総理大臣賞(団体表彰) (2005. 4)</p> <p>第51回通信協会前島賞 (2006. 3)</p> <p>2007年度文部科学大臣表彰科学技術賞 (2007. 4)</p> <p>2010年度高柳記念奨励賞 (2011. 1)</p> <p>■主な研究論文・著書等</p> <p>1) 「A Highly OR-Parallel Inference Machine (Multi-ASCA) and Its Performance Evaluation」(共著、1994、IEEE Trans. Computer, Vol. 43, No. 9, pp. 1062-1075)</p> <p>2) 「Single-chip MPEG-2422P@HL CODEC LSI with Multi-chip Configuration for Large Scale Processing beyond HDTV Level」(共著、2007、IEEE Trans. VLSI, Vol. 15, No. 3, pp. 1055-1059)</p> <p>3) 「デジタル放送を支えるシステム LSI」(単著、2007、NTT 技術ジャーナル、Vol. 19, No. 6, pp. 56-60)</p> <p>4) 「An H. 264/AVC High 422 Profile and MPEG-2 422 profile Encoder LSI for HDTV Broadcasting Infrastructures」(共著、2012、IEICE Trans. Electron. Vol.E95 - C. No. 4, pp. 432 - 440)</p> <p>5) 「HDTV 対応双方向通信用 H. 264/AVC リアルタイムソフトウェアコーデック」(共著、2013、電子情報通信学会論文誌D. Vol. J96 - D, No. 10, pp. 2562-2569)</p>